



ほしぞらかんぼうかい

とよかわ★星空観望会

あき せいざ かいおうせい み 秋の星座と海王星を見よう

さいきん
最近、星空見えますか？

ぼうえんきょう ひつよう てんたい かんさつ
望遠鏡が必要な天体を観察するチャンスです！

たいようけいさいは わくせい
「太陽系最果ての惑星も見えますか！？」

ぎんが いま み
「アンドロメダ銀河って今が見ごろなの？」

そぼく しつもんだい かんげい おし
素朴な質問大歓迎！ 星空のプロがやさしく教えてください。



日 時： 令和元年11月16日（土） 午後6時30分から8時30分まで

※雨天・曇天の場合中止・・・当日、午後4時ごろ決定します。

中止時は、午後7時から講師によるプラネタリウム特別解説「望遠鏡と土星の見え方」を行います。

場 所： 赤塚山公園 芝生広場 （中止の時は、ジオスペース館プラネタリウム）

解 説： 中島 健次氏（那須香大阪天文台）

このイベントには整理券が必要です。集合場所などは、整理券配布時にお知らせします。

整理券配布場所： 豊川市中央図書館2階事務室

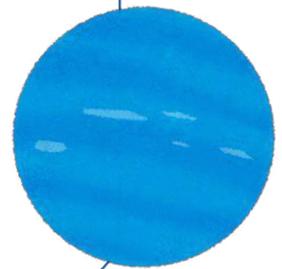
配付開始日： 令和元年10月26日（土）

定 員： 100名（先着順）

参加料： 1人300円（当日、現地でお支払いください）

※ほの国こどもパスポートはご利用できません。

お問い合わせ： 豊川市中央図書館・ジオスペース館（0533）85-5536



とうじつ かつ にち ごと 午後7時ごろの夜空の様子

「秋の四辺形（ペガサス座）」が頭上高く昇ってきました。まだ「夏の大きな三角」は見えていますが、明るい惑星たちは西の空低くなり、空気も澄んで、つい見逃しがちな秋の星座たちをじっくり観察するには最適な星空です。海王星は肉眼では見えませんが、大きな望遠鏡を使えば、ぎりぎり青い小さな点として観察できます。アンドロメダ銀河も最も観察に適した位置にきますので、230万光年かなたの天体からの光が自分の目で見えるかどうか、挑戦してみるのも良いかもしれません。月は観望会が終わる頃に昇ってきます。